

西多摩地域における介護予防(口腔機能向上プログラム)の推進支援

西多摩保健医療圏 西多摩保健所

実施年度	開始 平成17年度 終了(予定) 平成19年度
背景	<ol style="list-style-type: none"> 厚生労働省では平成18年度の介護保険制度改革の中で、介護予防事業の創設を決定し、新しく口腔機能向上が導入される。また、東京都福祉保健局では介護予防推進会議を設置し、国の動向を踏まえながら対策を検討し、その中で口腔機能向上プログラムの開発・普及を進めている。 口腔機能向上プログラムは、摂食・嚥下機能訓練及び口腔衛生指導・支援・介助を通じて、高齢者がおいしく、楽しく、安全な食生活を営むことにより、生活機能の維持向上と自己実現達成を支援することを目指している。 西多摩地域(8市町村)は平均高齢化率が16.7%で、中でも檜原村38.2%、奥多摩町34.2%、日の出町20.8%と特に高い地域を抱えており、今後、介護保険サービスの需要が増加すると予想される。 常勤の歯科衛生士が配置されている市町村は少ないため、口腔機能向上プログラムを実施できる地域は、限られてくると予想される。 圏域内の介護保険事業や、在宅介護・施設介護の現場において、口腔ケア・口腔機能向上の取組状況の把握ができていない。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 平成18年度からの介護予防事業において、市町村が、地域支援事業の中で口腔機能の向上プログラムを着実に推進できることを目指す。 在宅介護・施設介護の現場において、口腔ケア・口腔機能向上プログラムがスムーズに実施できるように、地域の基盤整備を行う。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 東京都老人医療センターよりスーパーバイザーを迎え、口腔機能向上プログラム推進検討会(歯科医師会、市町村関係部署、介護保険関係施設、事業所及び保健所)を設置(2回開催)。 高齢者福祉施設等に口腔ケア・口腔機能向上の取組の実態調査を行い、結果を各機関に報告した(223か所)。 奥多摩町で行われた、「おたっしや21健診」で口腔機能に関するスクリーニング調査(4項目)を実施した(231人)。
評価	<ol style="list-style-type: none"> 口腔機能向上プログラム推進検討会において、関係各機関の状況と役割が明確になり、地域で推進する上での課題、方向性を明らかにできた。 高齢者福祉施設等の実態調査を行い、地域の現状を把握するとともに、課題を抽出し、対策を検討することができた。 奥多摩町の地域住民「おたっしや21健診」でのスクリーニング調査では、地域の高齢者の口腔機能に関する現状を把握することができた。
問い合わせ先	<p>西多摩保健所 企画調整課 保健医療係 電話 0428-22-6141 ファクシミリ 0428-22-3987 E-mail S0000341@section.metro.tokyo.jp</p>

1 事業の展開

1年目・・・共通理解と連携強化

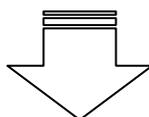
<口腔機能向上プログラム推進検討会>

- ・口腔機能向上への共通認識
- ・情報、意見の交換
- ・地域の現状、課題の整理
- ・実態調査内容の検討
- ・調査結果の考察・解析
- ・施策の方向検討



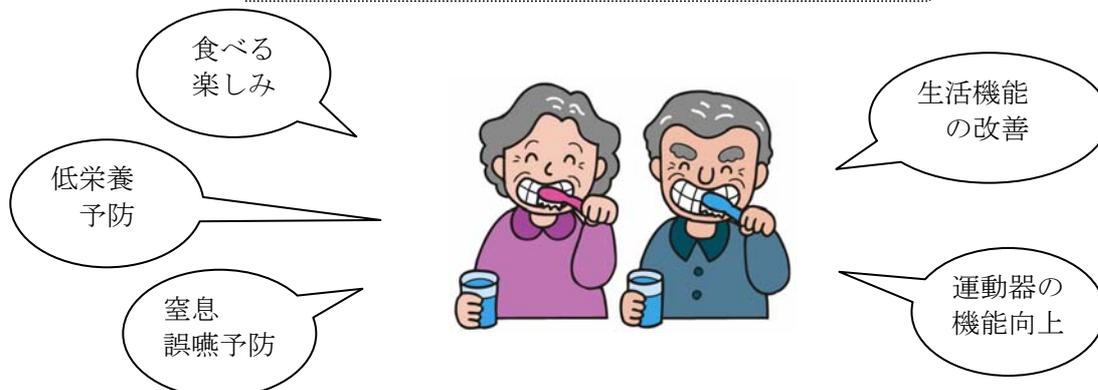
現状把握のための調査

- ☆ 高齢者福祉施設・事業所の現状
「口腔ケア・口腔機能向上プログラム実施状況の調査」
- ☆ 住民の実態
「奥多摩町おたっしや21健診における歯や口の機能に関する調査」



2年目3年目・・・実践活動の展開 <関係者の人材育成と地域の活性化>

- 市町村の「地域支援事業」の支援
- ・口腔機能向上プログラム実施担当者向研修会、連絡会
- 介護現場に対する普及啓発
- ・口腔ケア・口腔機能向上施設研修会
- 地域住民、高齢者に対する普及啓発



関係機関の連携・協働による
西多摩地域における口腔機能向上プログラム推進の基盤整備

2 口腔ケア・口腔機能向上プログラム実態調査

(1) 目的

西多摩地域で高齢者に関わる施設や事業所での口腔ケア、口腔機能向上の取組状況を把握し、各関係機関が連携して高齢者の介護予防を推進するために役立てることを目的とする。

(2) 対象

西多摩地域（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）の高齢者関係施設

（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、通所介護事業所、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所 計215か所 回収数 149か所(回収率69.3%)

(3) 内容

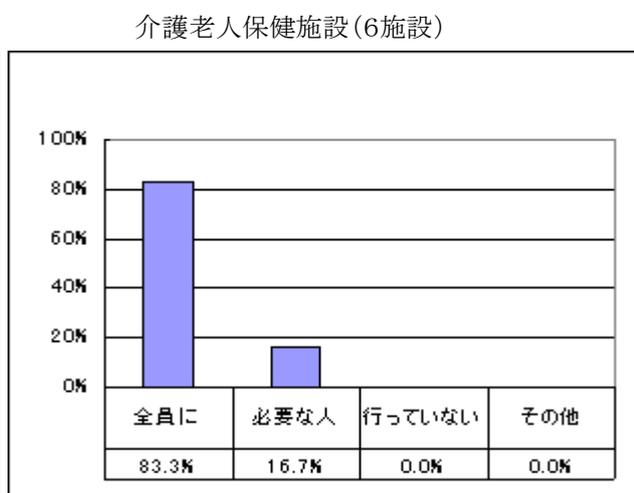
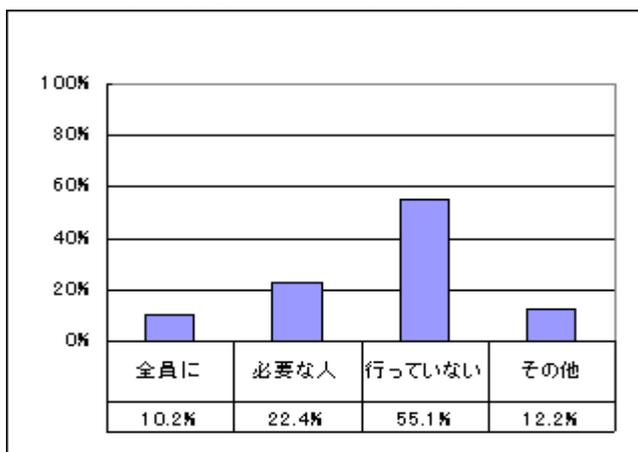
- ・ 口腔ケアの実施状況、口腔状態の把握
- ・ 口腔機能向上の取組の実施状況、口腔機能状態の把握
- ・ 口腔機能向上に取り組むために必要な事項
- ・ 歯科専門職種との連携
- ・ 保健所に希望する研修会のテーマ、内容 等

(4) 期間及び方法

平成17年11月から12月 郵送によるアンケート調査

(5) 結果（抜粋）と課題

- ① 口腔清掃は、入所施設の全てで実施されていた。食後の口腔清掃は、誤嚥性肺炎などの感染症予防に効果があることが広く認識され、各施設で積極的に実施されるようになってきたと思われる。
- ② 利用者の口腔状況は、職員による観察や本人・家族への聴取により、ほとんどの施設で把握されていた。特別養護老人ホームでは、定期的な歯科健診を行っているところが半数近くあった。
- ③ むせや食欲低下などの口腔機能の低下については、ほとんどの施設で、観察又は記録により把握されていた。口腔機能の低下は、誤嚥性肺炎の発症や低栄養等の原因となることも、介護現場で広く認識されてきた結果、利用者の口腔機能にも注意が向けられていると思われる。
- ④ 口腔機能向上の具体的方法（口、舌、顔面体操、発声等）については、主に研修会やパンフレットなどから情報を得ていることがわかった。また、言語聴覚士や機能訓練士等の専門職種を通じて情報を得ているという施設もあった。
- ⑤ 口腔機能向上の取組をまだ実施していない施設のうち、約70%で、これから取入れたいと考えており、そのためには研修会、適切な情報、相談できる専門職種等を必要としていることがわかった。
- ⑥ 口腔機能向上の体操等の実施状況
特別養護老人ホーム(49施設)



3 奥多摩町「おたっしゃ21健診」における歯や口の機能に関する調査

(1) 調査対象

平成17年9月から10月に実施した奥多摩町・介護予防健診「おたっしゃ21」受診者のうち60歳以上の者 合計 231人 (男性69人、女性162人)
(年齢構成 60代81人、70代115人、80代34人、90代1人)

(2) 調査内容と方法

「歯や口の機能についての調査票」(下表4項目)を用いて、介護予防健診を終了した受診者に対し、その場で西多摩保健所職員(歯科医師又は歯科衛生士)が、聞き取り調査を実施した。(調査4項目は『介護予防を目的とした口腔機能向上プログラムマニュアル』(東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室作成)の「問診チェック表」を利用した。)

(3) 調査結果の概要

- ① 噛むと痛みのある者は、全体231人中20人(8.7%)であった。
- ② 痛み以外の不具合がある者は、以下のとおりであった。
噛みにくい5人(2.2%) 口の臭いが気になる50人(21.7%) むせる23人(10%)
- ③ 痛みのある者を除いた211人中、口腔の不具合が1項目以上ある者は、62人(29.4%)であった。

質問内容	不具合はない	不具合がある
問1 噛むと痛いところがありますか?	1 いいえ	2 はい
問2 食事の時、何でも良く噛めますか?	1 何でも噛める 2 たいていのものは噛める	3 あまり噛めない 4 噛めない
問3 口の臭い、入れ歯の臭いが気になりますか?	1 いいえ	2 少し気になる 3 かなり気になる
問4 食事の時、むせることがありますか?	1 いいえ	2 時々むせる 3 むせることが多い

